

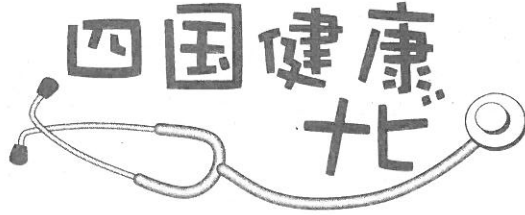
皆様が病院を受診し、「検査をしましょう」と言われれば、どのような検査が浮かぶでしょうか。血液検査、レントゲン、心電図などを考えられる方が多いと思います。本日は、画像検査を安全に受けていただくために気を付ける事についてお話しさせていただきます。



画像検査全般についてですが、

川田直伸技師長

徳島大学病院
診療支援部診療放射線部門



妊娠をしている方、または妊娠の可能性のある方はお知らせください。心臓ペースメーカー、埋め込み型除細動器（ICD）を使用している方、その他にも体内に何らかの装置や金属がある方もお知らせください。

X線検査（レントゲン）ですが、撮影部位に金属やボタン等が映らないように薄着で検査を受けてください。

CT検査ですが、造影剤を使用しない場合は特別な注意はありませんが、腹部の検査では絶食していただく場合があります。造影剤を使用する場合はヨードアレルギーのある方やぜんそくなどのアレルギーのある方は必ずお知らせください。

ださい。常時服用している薬のある方（特に糖尿病薬）や腎機能の悪い方、また、授乳中の方もお知らせください。検査前4～5時間は絶食していただく必要があります（水分補給は可能）。

MR検査ですが、強い磁場を利用した検査ですので、検査室内に金属類は持ち込めません。

ペースメーカーや人工内耳などの体内インプラント、磁気カードや時計などの所持品について、検査前にスタッフがチェックを行いますのでご協力をお願いします。造影剤を使用する場合に注意していただく事は造影CT検査とほぼ同様です。造影剤を使用しない腹部の検査で絶食をさせていただく場合がありますのでご注意ください。

核医学（RI）検査ですが、検査の種類により絶食や食事制限等の前処置が異なりますので必ずご確認ください。また、授乳中の方や30分程度の仰臥位が困難な方もお知らせください。

放射線検査では

被ばくはしますが適正に管理しております。疑問点などがある方は遠慮なくスタッフにお尋ねください。皆様方が安全に画像検査を受けていただくように努めてまいりますのでご協力の程よろしくお願いたします。

画像検査 安全に受けるために